

屋外活動時は

クモとダニに注意!

かまれたときの
症状と対処方法

セアカゴケグモ

新聞やテレビなどで、「セアカゴケグモ」や「マダニ」による被害が報道されています。これらの生物に、屋内でかまれることは、ほとんどありませんが、暖かくなるこれからの季節、屋外の活動時は、次のことに注意してください。

かまれると針で刺されたような痛みを感じ、多くの場合、かまれた部分の周りが腫れて赤くなります。重症化すると、強い痛みを感じたり、発汗、発熱などが表れたりする場合があります。かまれたら、温水や石けん水で傷口を洗い、医療機関を受診してください。

マダニ

かまれても痛みがなく、気付かない場合もあります。かまれると、あごが皮膚に食い込み、簡単に引くと、あごの部分だけ、皮膚に残ってしまふことがあるため、医療機関で取ってもらいましょう。

ダニを介して、重症性血小板減少症候群(SFTS)のウィルスなどがうつる可能性があります。かまれた後に、高熱が数日以上続くようであれば、医療機関を受診してください。

特徴と習性

セアカゴケグモ

メスの体長は約1センチ。全体が黒く、背中と腹部に赤色の帯状の模様があります。オスの体長は約0.5センチで、背中が灰白色。人体に影響のある毒を持っているのはメスだけで、オスは持つていません。攻撃性のないおとなしいクモで、素手で触らない限り、かまれることはありません。

セアカゴケグモ(メス)



背面

腹面



フタトゲチマダニ(メス)
写真提供=岡山環境保健センター

ごみはルールを守って出そう



他の自治体で、ごみ収集車に積み込んだごみから出火する事故が発生しています。

燃やすごみ以外の物が入っていると大変危険です。ごみはルールを守って出しましょう。

ごみの出し方は、市広報紙3月1日号と一緒に配布した「家庭ごみの出し方」パンフレットに掲載しています。市役所やコミュニティ・センターにも設置しています。



■問い合わせ先 環境課 ☎(36)1421



さつき松原再生プロジェクトに協力をありがとうございました

市では、さつき松原再生プロジェクトの一環として、松苗の植樹を2月3日と同13日に実施。ボランティア団体、地元の小学生ら総計340人に1,500本の松苗を植樹してもらいました。

3月3日に実施した松枝拾いでは、市内外から約600人が参加。8tもの松枝を拾ってもらいました。

みなさんの協力をありがとうございました。今後も、さつき松原内で多くの人々の力を借りながら、松の植樹や松枝拾いなどの活動を実施し、きれいな松原を取り戻していきます。

■問い合わせ先 環境課 ☎(36)1421



玄海東・玄海小学校

大人になってもずっと松原を守り続けよう!

いきます。

【玄海小学校・緑の松の会】同会は、5・6年生が中心となって、「玄海さ

つき松原保存会」の指導と支援を受け、同プログラムに参加しています。「自分たちの地域の環境を守り続けるために、自分たちの力でできることをする」という活動の一つとして、平成22年から

年3回、草刈りを実施しています。今後も、さつき松原の美しい景観を守り、育てる活動を通して、子どもたちの「地域を愛する心」を育みながら、白砂青松を目指して頑張ります。

■問い合わせ先 環境課 ☎(36)1421

「セアカゴケグモ」は、

日当たりが良い場所にある人工構造物の隙間や内部を好むため、屋外に置いているサンダルを履いた時の事故が報告されています。屋外に置きっぱなしのサンダルを履く場合は注意しましょう

*「マダニ」は、草むら

や森に生息し、人家の周りには、ほとんどいません



◆マダニ

体長は、約3ミリ〜1センチ。春から秋にかけて活動し、ササ類の葉先などに集まり、宿主(鳥動物、人)が通った時に寄生します。

■問い合わせ先

環境課 ☎(36)1421



第6回



松の話を真剣に聞く玄海東小の児童たち



草を集め終わり、すっきりとした表情の玄海小の児童たち